

疾病の成り立ちと回復の促進①

病態生理学



ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
半透膜 (3分2秒)		半透膜は溶質（水に溶けている物質）は通さないが、溶媒（水）は通す性質をもつ。生体内では、細胞の内と外を隔てる細胞膜や、血管の内と外を隔てる血管壁が、半透膜の性質をもち、血漿タンパク質であるアルブミンは通り抜けることができない。	1章 病理病態論 ■ 1 体液の異常 1 体液の恒常性
細胞膜のはたらき (1分19秒)		細胞膜には選択透過性があり、脂溶性の高い物質などが透過しやすい。膜タンパク分子は水やイオンなどを必要に応じて通過させている。	1章 病理病態論 ■ 1 体液の異常 2 電解質の異常
ナトリウムポンプ (1分18秒)		ナトリウムポンプでは、ATPを消費し、細胞内外の濃度勾配に逆らってナトリウムの吸収とカリウムの排泄を行う「能動輸送」を行っている。	1章 病理病態論 ■ 1 体液の異常 2 電解質の異常
血液の凝固と線溶 (1分47秒)		血液が血管外に出るとフィブリンなどの血液凝固因子が活性化し、12種類の凝固因子が次々に作用し合って最終的にフィブリン塊が形成され凝固に至る。	1章 病理病態論 ■ 2 血行障害 2 血行障害の分類 2章 病態症候論 ■ 20 出血傾向 1 出血傾向とは
ファロー四徴症の血行動態 (2分9秒)		正常とファロー四徴症の血行動態をアニメーションで解説する。	1章 病理病態論 ■ 2 血行障害 2 血行障害の分類 2章 病態症候論 ■ 5 チアノーゼ 2 病態生理
花粉症の検査と診断 (4分21秒)		アレルギー反応の有無を調べ、アレルゲンを特定するためのテストとして皮内テストがある。紅斑と膨疹の大きさにより診断される。スクラッチテストやプリックテスト、鼻粘膜検査の方法も紹介する。	1章 病理病態論 ■ 4 免疫および免疫疾患 3 免疫疾患
ヒト免疫不全ウイルス HIV (Human immunodeficiency virus) (48秒)		エイズの病原ウイルスである HIV ウイルスについて、その構造や感染経路について説明する。	1章 病理病態論 ■ 4 免疫および免疫疾患 5 免疫疾患のケア

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
<p>DNA から RNA への 転写（遺伝情報の 読みとり） （1分43秒）</p> <p>🔊</p>		<p>遺伝情報は DNA から RNA, タンパク質へと、一方向に流れて発現する。DNA から mRNA への転写, そして翻訳などの段階を経てタンパク質が合成される。</p>	<p>1章 病態病態論 ■ 5 感染 1 感染の成立とその修復</p>
<p>慢性閉塞性肺疾患 (COPD) の病態生理 （4分50秒）</p> <p>🔊</p>		<p>喘鳴や喀痰, 呼吸困難は, 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 患者の特徴的な症状である。これらの症状がどのようにして起こるのかを, 肺の末梢気道病変と気腫性病変を中心に解説する。</p>	<p>2章 病態症候論 ■ 2 呼吸困難 3 アセスメント</p>
<p>刺激伝導系 （1分53秒）</p> <p>🔊</p>		<p>心臓は血液を全身に送り出すポンプである。洞房結節は心臓のペースメーカーとして周期的に刺激を生成する。その刺激を刺激伝導系を介して心臓全体に伝えることによって, 心臓全体として調和のとれたリズムで収縮拡張を繰り返している。</p>	<p>2章 病態症候論 ■ 4 不整脈 1 不整脈とは</p>
<p>呼吸と嚥下 （48秒）</p> <p>🔊</p>		<p>口腔から咽頭までの間は, 呼吸のためのはたらきと摂食・嚥下のためのはたらきの両方の機能を有している。呼吸と嚥下, それぞれの動きを理解しよう。</p>	<p>2章 病態症候論 ■ 11 嚥下障害 2 病態生理</p>
<p>嚥下障害 (嚥下造影検査; VF) （1分）</p> <p>🔊</p>		<p>嚥下の正常例と咽頭期嚥下障害の X 線画像を提示する。</p>	<p>2章 病態症候論 ■ 11 嚥下障害 3 アセスメント</p>
<p>内視鏡的食道静脈瘤結 紮術 (EVL) による 内視鏡的止血術 （2分5秒）</p> <p>🔊</p>		<p>内視鏡による食道静脈瘤結紮術による止血術の様子を提示する。</p>	<p>2章 病態症候論 ■ 13 吐血・下血 3 アセスメント</p>
<p>消化器系 （1分22秒）</p> <p>🔊</p>		<p>回転映像</p>	<p>2章 病態症候論 ■ 14 便秘 3 排便のしくみ (メカニズム)</p>

